



コロナ禍での フレイル

新型コロナウイルス感染症による災害的な状況に緊張を強いられて過す日々が、1年半以上になっっています。足腰が弱っている方々も、たく



松原 清二 医師
在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症専門医
・認知症サポート医

さんお見受けするように
なりました。
「2年配の方で病院に通
院されている方では、以
前は受診の帰りに、街ブ
ラッをして外食をするの
を楽しみにしていたり、
何年も通っていて自分の
ことを分かってくれてい
るかかりつけ医と話すこ
とで心が癒やされる……
といった状況がありまし
た。

しかし、そんなことが
コロナ災害でできなくな
り、外を歩かないため
老化現象が進んでしまっ
た……という方が増えつ
つあります。
部屋の中を歩くのが
やっと——という、いわ
ゆるフレイルの方も増え
てきており、以前から在
宅医療を外来で勤められ
ていた方が当院に訪問診
療を依頼してくるケース
も多くなっています。

こういったケースで問
題になるのは、転倒と骨
折です。とくに高齢者の
骨折は、骨強度が低下す
る骨粗鬆症によるものが
多く、部位としては、背骨

や大腿骨、腕の骨折が多
く認められます。特に大
腿骨頸部、転子部骨折は
発症から1年後の死亡率
が10%程度認められてお
り、社会問題となってい
ます。骨粗鬆症の早期発
見と取り組みは大切です。
次回は当院での骨粗鬆
症に対する取り組みにつ
いてお話ししていきたい
と思います。

【まつばらホームクリニック】
☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
■定休日：土日(祝日は診療)
■訪問地域：西東京市、東久留米・
新座・練馬の一部
↑ 診療相談は
こちらから



まつばらホームクリニック

検索